



とのやま



【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒

富士見台中学校HP

3年生の面接練習から学ぶ

3年生は受験に備えての面接練習がほぼ終わりました。多くの方は志願先も決まり、いよいよ高校受験の準備に全力を注ぎます。1・2年生のみなさんにとっては、高校受験の話題は早いように感じるかもしれませんが、義務教育は9年間。1年生のみなさんも、すでに7年が過ぎようとしています。2年生のみなさんにとっては、たった1年後の話です。

さて、面接練習ですが、多くの方は緊張感をもって臨んでいましたが、課題も明らかになりました。1・2年生のみなさんにも参考になるのでまとめました。

これは「受験のため」でなく、これから先、社会の一員として生活していくうえで大切なことです。よく読んで、自分に当てはまることがあったら改善するよう心がけましょう。

礼法を学ぶ

- 服装や髪型、表情はもちろん、立ち姿や座り方を凛々しくします。頭のとっぺんからつま先まで意識を集中させて、よい姿勢をつくります。
- 「面接」は人と人が向き合って話をするのです。頷いたり返事をして答えたりなど、自然なしぐさが表れることは、面接官の話を受け止めている証拠です。しかし、身振り手振りが多いと、面接官はあなたの話に集中できません。落ち着いて話をしましょう。

適切な「言葉」と「言葉遣い」を身につける

- まずは「言葉」を増やしましょう。言葉を増やすには、読書が一番です。それも、ある程度質の高い本を読むことで、新しい言葉や豊かな表現に出会うことができます。
- 若くして社会で活躍している人は、みな品のよい話し方をしています。日ごろから親や先生など身近な大人に対して丁寧な話し方と適切な言葉遣いを意識しましょう。「面接のときだけ…」と考えている人、そんなに甘くありません。すぐにボロが出ます。

【今回の面接でよく聞かれた言葉】

「えっと」「そうですね～」「～で」「なんか～」「～っていうか」

伝えたいことをまとめる

- 伝えたいことは端的にまとめます。学校では普段の授業をはじめ、自分の考えを文章にまとめる機会が多くあります。そのときに、与えられた枠いっぱいきちんと文章を書くよう心掛けてきた人は、まとめる力が養われています。面接では、自分の伝えたいことを簡潔にまとめて話すことが求められます。だらだらと長い話はいけません。文章を書く機会を疎かにしてはいけません。

自分を見つめる

- 自分の長所と短所など、自分を語るというのは案外難しいものです。今日、この手紙をきっかけに、時折自分を見つめる時間を持ちましょう。短所や苦手は、それを克服すればよりよい自分になれるハードルと考え、克服に向けて取り組み、「以前より成長した」と実感することも大切です。

夢や目標をもつ

- 将来の夢や目標をもつことは、学習そして進学モチベーションとなります。今はまだ夢でいいのです。時を重ねて変わってもいいのです。夢や目標があなたを強くします。

武器（資格）をもつ

- 「私は英語が得意です。これまでに英検△級を取得し、現在は○級取得に向けて～」と話した人がいました。ただ英語が好きだけでなく、資格を取得するほど真剣に向き合っているという印象を与えます。そして、資格はあなたの武器になります。戦い（受験）に行くのに、丸腰より武器があったほうがいいに決まっています。機会を見つけて積極的に資格取得に挑戦してみましょう。ただし、あらかじめ勉強しなければ合格できませんよ。

さあ、勉強しよう！

- 1日2～3時間は机に向かって勉強しましょう。「継続は力なり」です。毎日続けることで習慣となり、学力が高まります。もちろん、受験前に焦ることもありません。
- まずは自分で勉強します。分からないときは先生や友達に質問して解決しましょう。
- 「塾に行けば成績が上がる」のではありません。学校でも塾でも、学んだことを繰り返すことが大切なのです。予習、復習、そして何より学校での授業を大切に。

感動、希望坂

11月25日（土）に行われた「第10回富士見市うたごえフェスタ」において、本校有志合唱団「希望坂」が演奏を披露しました。限られた練習時間の中で、一生懸命練習を重ねてきた成果を存分に発揮し、観客から割れんばかりの拍手が起きました。指導者の先生からは「歌う喜びにあふれている表現力」や「聴き終わったときには、涙が出ておりました」とお褒めの言葉をいただきました。

講評後、多くの生徒が指導者の先生に向かって頭を下げました。また、閉会後のステージの片付けも率先して行いました。

演奏のすばらしさもさることながら、そのような行動にも台中生の「心」が表れていて感動しました。

